

単元名 言葉に立ち止まった深い「読み」の実現を目指した授業実践～詩の表現意図に着目して～
令和6年10月28日(月)第5校時 1年2組(男子19名 女子17名 計36名)

育成を目指す資質・能力

知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 主体性

本質的な問い なぜ人は詩を作り, それをまた読むのだろう。

1 単元について

【単元観】

本単元は, 中学校学習指導要領(平成29年告示)国語第1学年【思考力, 判断力, 表現力等】「C 読むこと」(1)エ「文章の構成や展開, 表現の効果について, 根拠を明確にして考えること。」を受けて設定した。関連する【知識及び技能】として(1)オ「比喩, 反復, 倒置, 体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。」を設定し, 単元を通して詩の表現に着目しながら考えたことを伝え合う活動を行う。

「文章の構成や展開, 表現の効果について」考えていくためには文章を丁寧に読み, その表現の意図やねらいと向き合うことが前提となる。散文と比較すると韻文は言葉が少ないことが特徴である。そのため韻文では一つひとつの言葉の選択が重要であり, 込められた意図が存在する。本単元は対句や反復などの表現技法を重ねながら, 美しくも平易な言葉で自然の美しさ, そして希望の大切さを讃える詩である。三連までは六行で統一され, 時間的な感覚である詩の韻律, 視覚的な特徴が明確に伝わる構成である。その中で第四連の七行, そして一行のみの第五連が特異性を持ち詩の中で強調されている。「目に見えない希望」を信じ続ける, その大切さを訴えるために作者が豊かな表現を用いている本教材は, 表現や描写の力を味わううえで適したものであると言える。

【生徒観】

本単元は中学校で学習する二つ目の詩であり, 前回の詩「朝のリレー」では読み取った内容を踏まえた上で音読方法の検討を行っている。詩には様々な工夫が用いられていること(表現技法等)は知識としては知っている状態であるが, 表現技法をはじめとした工夫に込められた作者の思いや意図に着目することができた生徒は2割に過ぎず, 多くは言葉の意味をシンプルに捉えた上での思考に留まった。

本学級の生徒は, 授業や記述問題で意見を述べることに抵抗がない生徒が多く見られる。その一方で, 文中から根拠を見出せず, 裏付けのない意見が散見される。1学期期末試験では, 「空中ブランコ乗りのキキ」記述問題に対して正答率は4割に満たなかった。誤答の約6割は具体的な叙述を基にすることができておらず, 取り上げた場面や描写がどのような内容であるのかを明確にすることにも課題が見られた。

以上のことから本学級の生徒には「文章の構成や展開, 表現の効果」に着目させ, 「根拠を明確にして考える」ことで, 「文章と向き合う」ための資質・能力を育成していくことが求められる。

2 本質的な問いに迫る手立て【指導観】

指導に当たっては, 本質的な問いを踏まえた「言葉に立ち止まった深い読み」の実現を目指し, 以下の通り授業改善を図る。

(1) 主体的な学びを促すための工夫

- 生徒が主体的に「表現の効果について考える」ためには, 生徒自身が表現について疑問を抱き, 言葉に立ち止まりながら考えていく思考過程が必須である。本教材では①第2連と第3連の間をつなぐ「連」を自作すること ②第4連と構成に手を加えた第4連を比較することで, 自然と反復や対句の効果, 構成の工夫に着目し, その構成のあり様に疑問を抱くことにつながる。疑問を抱くことで, その読み解きのためには詩の内容の読み解きを必要とすることに生徒自らが気づくと考えられる。

(2) 思考過程の工夫

- 導入とまとめの比較により自らの読みの深まりを実感させる。本実践ではロイロノートの「記入シート」により, 授業ごとに自らの考えを言語化させる活動を行う。導入で挙げた「詩の定義」とまとめの活動で書く「詩の定義」を比較することで, 自らの「読み」の変容を実感させることができる。

3 単元の目標

○比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。

【知識及び技能】(1) オ

○文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えることができる。

【思考力，判断力，表現力等】C (1) エ

○言葉がもつ価値に気付くとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。

【学びに向かう力，人間性等】

4 単元の評価規準

【言語活動例 C読むこと(2)イ】 小説や随筆などを読み，考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動を通じた指導			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し，それらを使っている。(1)オ)	「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。 (C読むこと(1)エ)	積極的に表現技法を用いるなど，今までの学習を生かしながら根拠を明確にして自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価基準【「おおむね満足できる」状況(B)】		「努力を要する」状況(C)と判断した生徒への指導の手立て
思考・判断・表現	「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。	私は第四連はこのままで良いと思う。なぜなら第四連こそが作者の伝えたいことだと考えられるからだ。第三連までは六行で構成されており，対句や反復を用いながら同じようなリズムで表現されている。一見，第四連も同じように見えるが，第四連は七行で構成されており，表現技法も第三連までと異なっている。このことは，作者が同じ「それだけでいい」ものとして「希望」を挙げながらも，他とは違う，特に強調したい思いを表していて，作者の伝えたいことだと読み手に伝わる表現だからだ。	・判断の根拠を文章中の「詩で伝えたいこと」から求めることを確認する。 ①詩で伝えようとしていることをまとめさせる(穴埋めシート配布) ②第三連までと同じような構成に修正した「第四連」と比較し，読者にどのような影響があるのかをまとめさせる。(対話・思考ツールの提示)

5 指導計画（全5時間）

単元を貫く問い

詩ではなぜ様々な表現の工夫を用いるのだろう。

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）			
			知	思	主	評価基準・評価方法等
一	1	課題の設定 ○詩のボクシング（呉三津田高等学校）の映像を見て学習の見通しを持つ。 ○詩の定義をまとめる。				
二	2	情報の収集・整理・分析 ○詩「それだけでいい」を読み、詩の定義との整合性を確認する。 ○第2連と第3連の間に入る連を作成する。（個人）	○			[知識・技能] <u>記入シート</u> ・ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、それらを使っている。
	3 (本時)	情報の収集・整理・分析 ○グループで交流し、その連を作成した根拠を説明する。（集団） ○全体で共有し、第一連から第三連までの構成の効果をまとめる。		○		[思考・判断・表現] <u>記入シート</u> ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。
	4	創造・表現 ○第四連と第四連（修正版：六行ver）を比較する。 ○第四連は第三連までと同じような構成にすべきかどうか意見を述べる。【評価問題】		○		[思考・判断・表現] <u>発表</u> <u>記入シート</u> ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。
三	5	まとめ・振り返り ○詩の定義を再度まとめる。 ○詩を作成する。 ○単元の学習を通して自分の「成長したこと」を振り返りでまとめる。			○	[主体的に学習に取り組む態度] <u>記入シート</u> （※第1時の記入シートと比較する） <u>振り返りシート</u> ・ 積極的に表現技法を用いるなど、今までの学習を生かしながら根拠を明確にして自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

6 本時の学習（3時間目／全5時間）

（1）本時の目標

「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。

【思考・判断・表現】C 読むこと（1）エ

（2）学習の展開（50分）【☆問いかけ】

学習活動	指導上の留意点	評価基準 【評価方法】
①前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。(5分) ☆この授業の目的は何だった？	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを掲示する。 ・前時までの生徒作成の詩の定義を示し、理解できていることを示しておく。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> 詩の読み取りをもとに、詩の定義を更新しよう		
②話し合いのポイントを提示する。(3分) ③グループで一人ずつ発表し、班で一つの連を選ぶ (or まとめる) (10分) ④各グループの意見を全体で共有する。(10分) ☆みんなの作成した連で共通していることは何だろう。 ⇒「目に見えるもの(自然)が題材である」 「対句や反復が用いられている」 「第一連から三連までがほぼ同じ構成」 ⑤「構成の効果」を個人で考え、考えた内容を説明し合う。(15分) ☆同じような構成を繰り返すことに何の意味があるのだろう。 ⇒「リズムが良くなり読みやすくなる」 「言いたいことが強調される」 「第四連や五連の違いが際立つ」(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜその連を作ったのか(=根拠)」の説明が重要であることを伝える。 ・「発表の型」を事前に掲示する。 <div data-bbox="738 1037 1436 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><u>予想される生徒の意見</u></p> <p>森は そこに見守り続けるだけでいい 生まれたばかりの鳥が鳴き声を上げるときも 年老いた動物が静かに息を引き取るときも いつも確かに見守り続けていると わかっているだけでいい</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで選ばれた連をホワイトボードで共有する。 ・考えが整理できない生徒には他の人の意見を参考にしてもよいことを助言する。 ・第四連との比較の話が出た場合、次時につなげる。(※) 	<div data-bbox="738 1301 1436 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">[思考・判断・表現] 記入シート</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。
⑥作者の表現のねらいをまとめる。(2分) <div data-bbox="162 1765 708 1962" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ</div> 作者は対句などの表現技法を用いることで、メッセージが伝わりやすいよう工夫をしている </div> ⑦本時の授業を踏まえて詩の定義の更新を行い、振り返りをする。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを板書する。 ・考えが整理できない生徒はロイノートに提出された記入シートを参照するように助言する。 ・第1時の自分の考えと比較するように指示する。 	

<p>「おおむね満足できる」状況（B）</p> <p>「詩」は短い言葉の中で、読者に伝えたい思いを様々な表現技法や構成の工夫を用いることで伝わりやすくなるように考え抜かれたものである。</p>		
<p>生徒の振り返り例</p> <p>詩の表現技法があることにどんな意味があるのかを考えることができた。詩には作者の工夫があり、その工夫を読み解くことで詩の理解が深まることを実感した。</p>		

(3) 板書計画

<p>本日の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認 ・話し合いのポイント ・グループ交流 ・全体共有 ・個人思考 ・交流 ・まとめ ・振り返り 	<p>を し て い る</p> <p>と で 、 メ ッ セ ー ジ が 伝 わ り や す い よ う 工 夫</p>	<p>ま</p> <p>作者は対句などの表現技法を用いるこ</p> <p>とで、メッセージが伝わりやすいよう工夫</p>	<p>伝えたいことを強調させる</p> <p>リズムが良くなる</p> <p>↓</p> <p>なぜ？</p>	<p>同じ構成</p> <p>対句・反復</p> <p>目に見えるもの（自然）</p>	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: center;">森は…</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>		森は…					<p>め</p> <p>それだけでいい</p> <p>杉みき子</p>
	森は…											
					<p>発表の型</p> <p>①連の読み上げ（意見）</p> <p>②なぜその連にしたのか（根拠）</p>	<p>詩の読み取りをもとに</p> <p>詩の定義を更新しよう</p>						

※この他、電子黒板に適宜作業用の画面を提示する。